



ごみでカラスを



市長レポート No.278



美しいまちを
作りましょう

先日の大館クリーンアップ大作戦と春の大掃除に参加いただいた皆さん、ありがとうございます。今年は、比内地域、田代地域も含めた全市規模の取り組みになりました。雪の下から現れたごみは、様々なものがありましたが、皆さんの力できれいな環境を取り戻すことができました。

この季節には、国道沿いに空き缶やごみなどが散乱しているのが目に付き、人間のモラルの無さを形にして突き付けられたような気がします。自分たちの住むまちを愛し、きれいな環境づくりに努力している地元市民が、こんなふうにごみを捨てるとは考えられません。誰もが目を背けるような光景は、マナー以前の問題です。この様な心無い行為は、すさんだ生活の現れなのでしょう。私たちが目指すまちづくりに、大きな支障になるのではないかと心配してやみません。

美しいまちは、たくさんの要素で構成されています。道路や上下水道、公園や学校などのインフラ、空間を構成する建造物、歴史的な建築物、手入れの行き届いた庭園、すばらしい自然環境など、いろいろな要素があります。

大館を美しいまちにするためには、市民全体が協同で取り組むことが必要です。ご家庭では美しい庭づくりに精を出し、公園や道路沿いの花壇を整備して、花を植えるなどボランティア活動も大切です。一つひとつの取り組みが繋がって線になり、面になって広がると、美しい景色ができてきます。

散歩してみると、私の目には大館のまちがとてもきれいに写ります。特に美しい花の咲くこれからの季節、大館は十分に自慢できるまちだと感じています。こうした環境は、市民の皆さん一人ひとりがきれいなまちを作るために、いろいろな努力をしてくださっているおかげです。

来年はいよいよ秋田国体が開催されます。全国に大館の良さを発信し、訪れる皆さんに歓迎の思いを込めて、全市一丸となって美しいまちづくりに取り組みましょう。

小畑 元

ごみ収集日に確認したカラスの数

(単位/羽)

町	内	2月6日	3月6日	4月10日
①	水門町、豊町、末広町、栄町、川原町、独鈷町、田町、愛宕町	113	42	7
②	長倉町、馬喰町、中町、新町、一心院向町、片町、桂城、金坂、赤館、部垂町	221	58	8
③	谷地町、南町、田代町、旭ヶ丘、相染町、桜町	11	33	13
④	大正町、幸町、大町、寺町、新富町御坂、神明町、南神明町、常盤木町新地、泉町、青葉町	55	98	10
合 計		400	231	38

果としてカラスを減らすことにつながるものと思いません。こうした取り組みを続けることで、今年の秋、冬に集まるカラスはだいぶ減るのではないのでしょうか。

大館は餌が少ないと認識させる必要がある

冬ねぐらに多くのカラスが集まるのは、やはり餌となる生ごみなどが豊富だからでしょう。黄色ネットの普及を含めて、ごみステーションの管理・ゴミ出しのマナーを徹底してすることで、カラスに「餌が少ない大館」を認識させる必要があります。そうすれば、わざわざ周辺地域から集まるカラスは少なくなるのではないのでしょうか。

その他の対策

音で別の場所に誘導する

秋や冬のねぐらに集結したときに、ほかの場所に誘導する方法も研究されています。

機会があれば、カラスのいやがる音を出して、集まるのを邪魔する方法もやってみる価値はあるのではないのでしょうか。

黄色いごみ袋

ごみ袋そのものを黄色にしている都市もあるようです。しかし、ちゃんとしたごみステーションがあるのに、黄色の袋を使うという方法は、コストの面で受け入れられないでしょう。ほかの対策がとれないところでは、黄色いゴミ袋が有効かもしれません。

巣を作らせない

学校周辺の木に営巣しているカラスは、子供たちに対する影響が心配されます。こういう場所では、カラスの巣を撤去することで安全も確保できるし、繁殖を抑えることにもつながります。

一年後の調査で、カラスの減少を確認したい

カラス対策は、全国各地でいろいろな方法を試行錯誤している状態です。数ある対策の中でも、「黄色ネット」は、コストの割には高い効果を上げていると考えられます。全市的に取り組むことで、今年の秋、冬に集まるカラスが減少することを確認したいですね。